

7つの視点から 環境を考える

早稲田大学環境ロドリグス

環境ロドリグスは、「早稲田の学生が主体となり、ローカルな現場での活動を通して環境問題の解決に取り組む、社会性のあるNPOを作りたい」という思いから、1997年12月に設立された。「環境×〇〇」というテーマごとに分かれて活動を行っており、現在は7つの企画が動いている。

例えば、環境×地域活性のRECでは現在、従来のフィールドであった佐渡島以外の新たな活動拠点を模索している。

環境×教育のecoSMILEでは、毎年合同でイベントを行っている鯖江市をはじめ、環境省や企業・NPOなど様々な団体と協働している。

また、環境×キャリアのえこねくすとは、取材を通して環境分野の



2024年6月に実施した「環境×教育」の企画での出張授業の様子

企業や活動家の方と関わっている。他にも、里山、海、商品開発、早稲田地域など、多様な取組を展開している。

今後は取材に関わった方を招いてのキャリアイベントの開催も視野に入れている。活動理念である「多様なアプローチから環境問題を考えること」を大切にしており、個々の活動については社会的意義があるだけでなく、メンバーが楽しんで参加できるものになるように意識している。また、活動を通してメンバーがサークル内外における人とのつながりを感じられることもモチベーションになっている。

環境ロドリグスのメンバーは入会動機も活動へのモチベーションも



2023年12月に鎌倉で実施した、「環境×海」の企画でのビーチクリーンの様子

様々であり、団体として全体をまとめ上げることは難しいと感じる。一方で、多様なメンバーが在籍する環境ロドリグスだからこそ各メンバーが様々な意見や考えを持っている。これらの異なる価値観を共有する中で、メンバーみんなが新しい価値観に触れ、影響し合いながら大きく成長ができると感じる。

今後は活動の幅をさらに広げ、環境ロドリグスの活動をより多くの人に届けていきたい。

環境ロドリグス

環境ロドリグスは、「学生が主体となって、多様なアプローチから環境問題の解決に貢献する」という理念を掲げ、多様な活動を展開している、早稲田大学公認・学内最大規模の環境ボランティアサークルである。

GEOC/EPOからのお知らせ

国連大学協力会(JFUNU) 令和6年能登半島地震緊急支援募金

今年1月に発生し、能登半島を中心に甚大な被害をもたらした能登半島地震。

JFUNUが受け付けている「令和6年能登半島地震緊急支援募金」についてご紹介します。このプログラムで頂いた寄付金は、地震で被災された人々のために、この地域において里山里海を活かした持続可能な地域の復旧復興に取り組む団体等に配分されます。

地域の復旧・復興に向けて今後も、長期にわたる支援が必要です。

皆さまの温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。



つな環編集部

星野 智子、尾山 優子、江口 健介、鈴木 良壽、守山 幸子、
今井 麻希子(順不同)

つな環

検索

「つな環」はインターネットからもご覧いただけます。
http://www.geoc.jp/information/tsunakan